

第8回 観測ロケットシンポジウム プログラム

開催日： 2026（令和8）年 3月 12日（木）・3月13日（金）
場 所： JAXA 宇宙科学研究所 研究管理棟2階会議場+オンライン（Zoom）
講演時間： 招待講演は20分（発表15分、質疑5分）
実験提案に関する講演は25分（発表18分、質疑7分）
一般講演は15分（発表12分、質疑3分）
下線・太字：登壇者

3月12日（木）

世話人挨拶

9:25 - 9:30

1. 提案中(予定)の観測ロケット実験に関する講演

座長: 木村 勇氣（北大低）

9:30 - 12:10

1-1. 銀河系外背景光の分光観測実験 COMPAS

松浦 周二（関学）、玉井 桃子（関学）、笹山 涼（関学）、高田 真緒（関学）、
坂内 峻真（関学）、有本 充希（関学）、寺田 拓洋（関学）、高田 悠太（関学）、
佐野 圭（九工大）、古賀 千晶（九工大）、於保 有紗（九工大）、瀧本 幸司（JAXA）、
福島 洋介（JAXA）、三田 信（JAXA）、津村 耕司（都市大）、Zemcov Michael（RIT）

1-2. パラシュート放出・展開システムの総合飛行実証

高柳 大樹（JAXA）、丸 祐介（JAXA）、佐藤 正騎（JAXA）、小野 稜介（JAXA）、
八木 邑磨（JAXA）、山田 和彦（JAXA）、中尾 達郎（JAXA）

1-3. 伸展収納可能な観測ロケット搭載用電場観測アンテナ実証実験

松山 実由規（富山県立大）、石坂 圭吾（富山県立大）、白澤 秀剛（東海大）

休憩 10:45-10:55

1-4. 極超音速統合制御実験 (HIMICO/HAOT) の進捗状況

佐藤 哲也 (早大)、田口 秀之 (JAXA)、津江 光洋 (東大)、土屋 武司 (東大)、
中谷 辰爾 (東大)、松尾 亜紀子 (慶大)、高橋 英美 (JAXA)、廣谷 智成 (JAXA)、
本郷 素行 (JAXA)、古賀 勝 (JAXA)、森田 直人 (日大)、瀧澤 兼吾 (東大)、
手塚 亜聖 (早大)、藤川 貴弘 (理科大)、宮路 幸二 (横国大)、徳留 真一郎 (JAXA)、
丸 祐介 (JAXA)、坂本 勇樹 (JAXA)

1-5. 電磁力エアロブレーキング技術の飛行実証

葛山 浩 (鳥取大)、坂本 広樹 (鳥取大)、永田 靖典 (科学大)、酒井 武治 (鳥取大)、
坂本 憲一 (鳥取大)、石田 雄一 (JAXA)、八柳 秀門 (JAXA)、丹野 英幸 (JAXA)、
松井 信 (静岡大)、嶋村 耕平 (都立大)

1-6. 将来向け汎用推進モジュール (X module) SRP エンジン飛行実証実験 (2025 年度の
検討状況報告)

坂野 友香理 (JAXA)、高岡 泰成 (JAXA)、五十部 駿 (JAXA)、尾崎 祥梧 (JAXA)、
小名木 さゆり (JAXA)、紺野 雄大 (JAXA)、森 彩乃 (JAXA)、山下 遼太郎 (JAXA)、
羽生 宏人 (JAXA)、川島 秀人 (JAXA)

昼休憩 12 : 10-13:10

2. 観測ロケット実験の研究成果発表 座長: 阿部 琢美 (JAXA) 13:10 – 14:30

2-1. 2025 年 7 月に実施された S-310-46 号機 RIDE キャンペーンによる中性大気とプラズ
マ大気の同時観測

齊藤 昭則 (京大)、阿部 琢美 (JAXA)、松岡 彩子 (京大)、石坂 圭吾 (富山県立大)、
齋藤 義文 (JAXA)、田川 雅人 (神戸大)、熊本 篤志 (東北大)、白澤 秀剛 (東海大)、
小嶋 浩嗣 (京大)、栗田 怜 (京大)、村田 直史 (JAXA)、松山 実由規 (富山県立大)、
横田 久美子 (神戸大)、斎藤 享 (ENRI)、高橋 透 (ENRI)、西岡 未知 (NICT)、
細川 敬祐 (電通大)、横山 竜宏 (京大)、Huixin Liu (九大)、西山 尚典 (極地研)

2-2. 観測ロケット S-310-46 号機による中性大気密度計測に関する考察

小柳 智久 (神戸大)、岡田 悟武 (神戸大)、森脇 岳斗 (神戸大)、横田 久美子 (神戸大)、
田川 雅人 (神戸大)、阿部 琢美 (JAXA)

2-3. 圧力計を用いた観測ロケット上での中性大気流推定に関する検討

大澤 生芽 (東海大)、阿部 琢美 (JAXA)、田川 雅人 (神戸大)、森脇 岳斗 (神戸大)、
小柳 智久 (神戸大)、横田 久美子 (神戸大)、齊藤 昭則 (京都大)、田中 真 (東海大)

2-4. NASA ロケット実験 CIBER-2 による可視近赤外域の黄道光観測

玉井 桃子 (関学)、松浦 周二 (関学)、伊藤 希美 (関学)、坂内 峻真 (関学)、
笹山 涼 (関学)、高田 真緒 (関学)、有本 充希 (関学)、寺田 拓洋 (関学)、
高田 悠太 (関学)、佐野 圭 (九工大)、中川 俊輔 (九工大)、瀧本 幸司 (JAXA)、
津村 耕司 (都市大)、Zemcov Michael (RIT)、James Bock (Caltech)

2-5. 【招待講演】TEXUS 観測ロケット 60 号機を用いた微小重力環境における液滴冷炎燃
焼実験

菅沼 祐介 (日大)、齊藤 允教 (日大)、野村 浩司 (日大)、田辺 光昭 (日大)、
家村 和輝 (日大)、高橋 晶世 (日大)、高橋 賢一 (日大)、森上 修 (九大)、
安藤 詩音 (九大)、三上 真人 (山口大)、後藤 芳正 (IIC)、山村 宜之 (IIC)、
山本 信 (IIC)、野倉 正樹 (IIC)、Figueira Noelia (ZARM)、Meyer Florian (ZARM)、
Eigenbrod Christian (ZARM)、石川 毅彦 (JAXA)、菊池 政雄 (JAXA)、
稲富 裕光 (JAXA)

休憩 14 : 30-14 : 40

3. 採択された実験の進捗報告 座長: 三田 信 (JAXA) 14:40-15:55

3-1. 高エネルギーイオン液体を推進剤としたスラスタ実証実験の準備状況

松本 幸太郎 (日大)、伊東山 登 (名大)、松永 浩貴 (防大)、勝身 俊之 (長岡技科大)、
塩田 謙人 (福岡大)、伊里 友一郎 (横国大)、羽生 宏人 (JAXA)

3-2. 観測ロケット用実験プラットフォームの実証実験:PT3

三田 信 (JAXA)、福島 洋介 (JAXA)、安田 博実 (JAXA)、甚野 裕明 (JAXA)

3-3. 大気圏突入飛行中の展開型エアロシエルの分離実験 (RATS-J) のフライト実験機開発

山田 和彦 (JAXA)、中尾 達郎 (JAXA)、羽森 仁志 (JAXA)、高澤 秀人 (JAXA)、
永田 靖典 (科学大)、吉雄 忠行 (北大)、森本 智仁 (名大)、工藤 優太 (帝京大)、
馬場 翔太郎 (理科大)、坂本 航輝 (早大)、高橋 裕介 (北大)

3-4. S-520-36 号機を用いた連装型回転デトネーションエンジンの再着火実証試験

松岡 健 (名大)、安井 正明 (名大)、松山 行一 (名大)、川又 善博 (名大)、
川崎 央 (静大)、伊東山 登 (名大)、井出 雄一郎 (名大)、真鍋 亜佑斗 (名大)、
コトノ カミール (名大)、佐藤 寛 (名大)、鈴木 颯太 (名大)、前田 賢三 (名大)、
松下 昂由 (名大)、笠原 次郎 (名大)、松尾 亜紀子 (慶大)、船木 一幸 (JAXA)、
中田 大將 (室工大)、内海 政春 (室工大)、江口 光 (室工大)、姫野 武洋 (東大)、

八幡 祐成 (東大)、平嶋 秀俊 (崇城大)、中尾 達郎 (JAXA)、山田 和彦 (JAXA)、
羽生 宏人 (JAXA)、中村 秀一 (NETS)、東野 和幸 (NETS)

3-5. インフレーター構造物を用いた薄膜太陽電池の宇宙実証実験の進捗

福島 洋介 (JAXA)、甚野 裕明 (JAXA)、三田 信 (JAXA)、志田 真樹 (JAXA)、
安田 博実 (JAXA)

休憩 15:55-16:05

4. 【特別セッション】 観測ロケット実験の高頻度化 座長: 松本 幸太郎 (日大)
16:05-17:35

4-1. 観測ロケット高頻度化に向けた S-520 ファストトラック構体開発

白杵 智章 (JAXA)、安田 博実 (JAXA)、荒川 聡 (JAXA)、川久保 実咲 (JAXA)、
疋田 喬子 (JAXA)、前原 健次 (JAXA)、井手 翔吾 (JAXA)、桑鶴 浩志 (JAXA)、
羽生 宏人 (JAXA)

4-2. シンウチノウラ ～USC 再開発～

殿河内 啓史 (JAXA)、羽生 宏人 (JAXA)

4-3. 民間が開発する小型ロケット用アビオニクス新技術のファストトラック実証計画提案

砂見 幸之 (JAXA)、山田 琢也 (三菱プレジジョン)、椎野 竜哉 (NEC スペーステクノ
ロジー)

4-4. 観測ロケット実験における点火系の将来構想とレーザ点火の適用について

森下 貴都 (JAXA)、森下 直樹 (JAXA)、白杵 智章 (JAXA)、竹前 俊昭 (JAXA)、
甲斐 亮吾 (JAXA)、餅原 義孝 (JAXA)、荒川 聡 (JAXA)、深蔵 英司 (JAXA)、
徳留 真一郎 (JAXA)、桑鶴 浩志 (JAXA)、石川 夏輝 (JAXA)

4-5. 観測ロケット高頻度化への対応

尾島 徳一郎 (IHI エアロスペース)

4-6. S-520 高頻度化事業に向けたアビオニクス製品レート向上検討

川本 直樹 (NEC スペーステクノロジー)、山田 金嗣 (NEC スペーステクノロジー)、
黒谷 和彦 (NEC スペーステクノロジー)、中村 貴弘 (NEC スペーステクノロジー)、
白戸 寛之 (NEC スペーステクノロジー)、福原 圭太 (NEC スペーステクノロジー)、
高田 将寿 (NEC スペーステクノロジー)

3月13日（金）

5. 観測ロケットに係わる技術開発と新たな活用

座長: 山田 和彦 (JAXA)

9:45-11:50

- 5-1. 次世代観測ロケット実現に向けた電動ターボポンプを用いた A-SOFT ハイブリッドロケットのシステム成立性評価

鶴本 航平 (九工大)、田中 直樹 (荏原製作所)、井上 秀行 (荏原製作所)、
北川 幸樹 (九工大)

- 5-2. S-520-RD1 に見る観測ロケットの FTB 応用の課題

谷 香一郎 (JAXA)、竹腰 正雄 (JAXA)、長谷川 進 (JAXA)、高橋 政浩 (JAXA)、
高橋 俊 (JAXA)

- 5-3. S-520-RD1 を用いた超音速燃焼試験における動圧検知システムと作動結果

竹腰 正雄 (JAXA)、高橋 英美 (JAXA)、長谷川 進 (JAXA)、齋藤 俊仁 (JAXA)、
川邊 泉 (JAXA)、砂見 幸之 (JAXA)、谷 香一郎 (JAXA)

- 5-4. S-520-RD1 飛行試験における表面熱流束計測

高橋 俊 (JAXA)、松山 新吾 (JAXA)、竹腰 正雄 (JAXA)、谷 香一郎 (JAXA)

- 5-5. 複合サイクルエンジン性能実証用ロケット飛行試験システム

徳留 真一郎 (JAXA)、竹腰 正雄 (JAXA)、古賀 勝 (JAXA)、加藤 周徳 (JAXA)、
富岡 定毅 (JAXA)

- 5-6. 回収再利用を目指したハイブリッドロケットの打ち上げと、搭載電子機器不具合について

大内 佑真 (神奈川大)、高野 敦 (神奈川大)、幡野 慎太郎 (神奈川大)、
岡本 虎大 (神奈川大)、國廣 愛彦 (東亜電機)、三宅 真 (FHJ)、恩塚 彰也 (神奈川大)

- 5-7. 【招待講演】 K-8-10 号機事故の教訓

中部 博雄 (JSASS)、竹前 俊昭 (JAXA)

- 5-8. ロケットの打上げ方

～打上げに必要な手続きについて～

殿河内 啓史 (JAXA)

6. 総合討論

11:50-12:15

(終了予定時刻： 12:15)